

OTOTEN2019 音のサロン報告

日本オーディオ協会 音のサロン委員会

委員長 今 裕実

概要： OTOTEN2019 において、音のサロン委員会は 3 つの試聴プログラムを主催しました。それぞれのプログラムについて、概要を報告します。

ABSTRACT: At the OTOTEN 2019, the “Audio Salon Committee” held three programs. This is a report of each program.

1. はじめに

音のサロン委員会は OTOTEN2019 で、3 つの試聴プログラムを主催しました。会場は東京国際フォーラム D 棟 5 階のホール D5 の広いスペースで、音のサロン以外にも出版社主催の試聴イベントが行われ、終日多くのお客様が集まりました。音のサロン委員会主催の 3 つのプログラムは以下の通りです。

<タイトル>	<講師>	<スケジュール>
アナログ～ハイレゾまで聴き比べ	評論家 和田博巳氏	6月29日(土) 17:40～19:00
アナログレコードの楽しさと奥深さを追求	評論家 小原由夫氏	6月30日(日) 10:10～11:40
話題のアンプ 5 機種比較試聴会	評論家 麻倉怜士氏	6月30日(日) 14:40～16:00

2. 詳細

それぞれのプログラムについて、概要を報告します。

アナログ～ハイレゾまで聴き比べ 講師：評論家 和田博巳氏



アナログレコードから CD、さらにはハイレゾのファイル再生まで、順番に機器を替えなが

ら、様々なジャンルの音楽を織り交ぜて試聴しました。アナログレコードでは、方式の異なるプレーヤーを2機種用意し、1機種は糸ドライブでリニアトラッキング方式アーム、もう1機種はダイレクトドライブでユニバーサルアームのプレーヤーで、その性格の違いを聴き比べるなど、他の試聴会ではなかなか体験できない試聴を楽しみました。次いでCD/SACDプレーヤーでの再生、最後はハードディスクからのハイレゾファイル再生へと続けました。試聴は、ラップやブルーグラスからクラシックまで様々なジャンルのバラエティー豊かな楽曲で、和田氏の楽しい語り口での録音の裏話やアーティストのバックグラウンドの紹介を交えながら進みました。お客様の数は100名ほどで、予定時刻を過ぎた19時10分頃の終了まで全員が熱心に耳を傾けていました。

アナログレコードの楽しさと奥深さを追求 講師：評論家 小原由夫氏



朝一番のプログラムにもかかわらず開場と同時に 80 名くらいのお客様が集まりました。アナログレコードの再生にテーマを絞り様々な比較試聴を行いました。前半はカートリッジの比較試聴です。女性ボーカルとクラシックの 2 曲を共通の試聴曲とし、5 機種のカートリッジを次々と交換し試聴しました。交換作業を素早く行うために同じプレーヤーを 2 台用意し交互に使用しました。また、カートリッジそのものによる音の違いが分かるように、同じヘッドシェルに取り付けるなど細心の配慮をしました。後半はターンテーブルシート 3 機種とスタビライザー 3 機種を試聴です。こちらの試聴も同じ曲を 2 曲用意し、合計 6 機種を順次試聴しました。1 時間半の限られた時間で合計 11 機種も聴き比べるという普段はなかなか体験できない試聴会に、参加者全員が真剣に聴き入っていました。

話題のアンブ 5 機種比較試聴会 講師：評論家 麻倉怜士氏



OTOTEN で開催する音のサロンのプログラムとして恒例となった麻倉氏による比較試聴会です。今回はアンプ5機種と比較試聴を行いました。女性ボーカル、ポップス、クラシックの3曲を全機種に共通の課題曲とし、その他にバッハのバイオリン協奏曲の演奏違い、ピアノ曲、ジャズの3曲を加えた合計6曲で、それぞれのアンプを聴き比べました。3曲の共通課題曲ではアンプによる音の違いが分かりやすく伝わり、またその他の3曲ではそれぞれのアンプが持つ魅力をうまく引き出していました。2日間のホールD5のプログラムの最後のプログラムでしたが、音の違いに耳を集中したおよそ100人のお客様は、最後の最後まで席を立つことなく音の世界を楽しんでいました。

3. まとめ

以上、それぞれテーマの異なるプログラムで、大変多くのお客様に楽しんでいただけたと思います。それは、素晴らしいトークと進行でプログラムを導いていただいた各講師の方々、そして準備から現場での運営まで様々なご支援をいただいた関係スタッフのおかげです。この場をお借りし御礼申し上げます。

OTOTEN 2019 ホールD5：音のサロン エントリー機種

実施日時	プログラム	講師/進行	アナログプレーヤー	カートリッジ	フォノコライザー	CD/SACDプレーヤー	ファイル再生プレーヤー	アンプ (セパレート/アライヴ)	スピーカー	その他
29(土) 17:40 -19:00	アナログ〜ハイレスまで聴き比べ	和田 博巳氏	CSポート TAT-1 テクニクス SL-1000R	オーディオテクニカ AT-ART1000	CSポート C3EQ	マランツ SA-10	cocktail Audio X45 Pro クワイオン UC-HR メルコンシグレッツ DELA E100-H30	ヤマハ C-5000/M-5000	FOCAL Scala Utopia Evo	
30(日) 10:10 -11:40	アナログレコードの楽しさと奥深さを追求	小原 由夫氏	ラックスマン PD-171A×2 スペック EAT C-Sharp	→カートリッジ 比較試聴 ortofon MC-Q30	ラックスマン EQ-500 スペック EAT E-Glo S	→ターンテーブルシート スタビライザー 比較試聴		ヤマハ C-5000/M-5000	B&W 802D3	●ラインケーブル 各社 ●スピーカーケーブル 各社 ●電源ボックス クワイオン PB-HR1000 ●ラック アイシン萬丘 TAOC
30(日) 14:40 -16:00	話題のアンプ5機種 比較試聴会	麻倉 伸士氏				マランツ SA-10		CSポート C3PR/212PA ヤマハ C-5000/M-5000 トライオード MUSASHI ラックスマン L-509X スペック RSA-M88	B&W 802D3	●調音パネル ヤマハ ACP2

アナログレコードの楽しさと奥深さを追求 ※進行によっては全てを比較試聴できない場合があります。

■カートリッジ候補
オーディオテクニカ AT-OC9XSL
フェーズメーション PP-2000
デジタルストリーム DS-E1
イクササウンドラボ IKEDA AMANE
ズートコミュニケーション ANALOG RELAX EX1

■ターンテーブルシート候補
オヤイデ BR-12
スペック AP-UP1
ティアック TA-TS300N

■スタビライザー候補
フルテック Monaco
フィデリティス クリスタルガラス スタビライザー
アイテックス IQ1300A

執筆者プロフィール

今 裕実 (こん ひろみ)

1958年生まれ。九州芸術工科大学音響設計学科卒。大手音響メーカーで長年オーディオ製品の企画業務に従事。現在は株式会社トライオード勤務。